

そら 宙いも通信 No.2

私たちの体は、口から入る食べ物と呼吸から得られる酸素と+αの愛情からできています。

1日3食×365日=1095回。1年間にこの回数分、豊かで幸せな時間を持つことができるか否かで心身の健康は大きく変わります！つまり「食」がとても大切なんだからわかりますね。



この宙いも通信は、皆さんのところとからだの健康を願って、食に関するいろいろな情報をお届けしたいと思います。

実は今日、安威の畑で宙いもの苗植えが始まりました。

追手門大学の門からまっすぐおりて、亀岡街道を渡るとすぐに宙いも畑がみえます。追手門学院大学や梅花女子大学の教職員・学生の皆さんが、近隣の農家の方に耕運機を借り、運転の仕方を谷さんから教えてもらい、準備をしました。

プロジェクトが発足してからは3回目の苗植え、また、本格的にベニハルカを中心に栽培を始めてからは2回目の苗植えの年となりました。

TFTへのアプローチ

今年はその土台作り…

手始めは何と、茨木市役所スカイレストラン！

5月19日（月） もうすぐ！ 売り切れ御免！限定50食

イモいも ランチ 登場！

ベニハルカと鶏肉の甘酢醤油
ベニハルカのヨーグルトサラダ
スープ
ライス

酢やヨーグルトと言った酸味のある味付けをし、さつま芋本来の甘さを更に引き出しています。

れん根のサクッとした食感とさつま芋との食感の違いも楽しんでもらえたらと思います。

エネルギー：736 kcal
タンパク質：21.5 g
脂質：11.1 g
塩分：2.2 g
カルシウム：113 mg

＜スカイレストランの管理栄養士さんから伺いました＞

『茨木おいもプロジェクト』とは

茨木で採れたサツマイモで茨木の名産品を作る、農家とお店と市民の皆さんが一体となって進める「町おこしプロジェクト」。

そんな中でも、市民サポーターと共においもを育てることは、このプロジェクトの中でも基本中の基本。

一番大切なところですよ。

世代を超えて集い、職種を超えて「おいもを育てる」ことをサポートし、育んでいく…。

この「育てる」「育む」という言葉・想いの中にたくさんの「ことがら」が含まれています。

すべての命を育て、育みます。

やさしく・つよく・しなやかに

それぞれの家庭が、町が、国が、世界の幸せを願って今年も、ささやかな歩みを始めます。

プロジェクトの構成

市民サポーター・店舗サポーター・追手門学院大学・準農家
梅花女子大学・大阪成蹊大学・茨木高校・有志

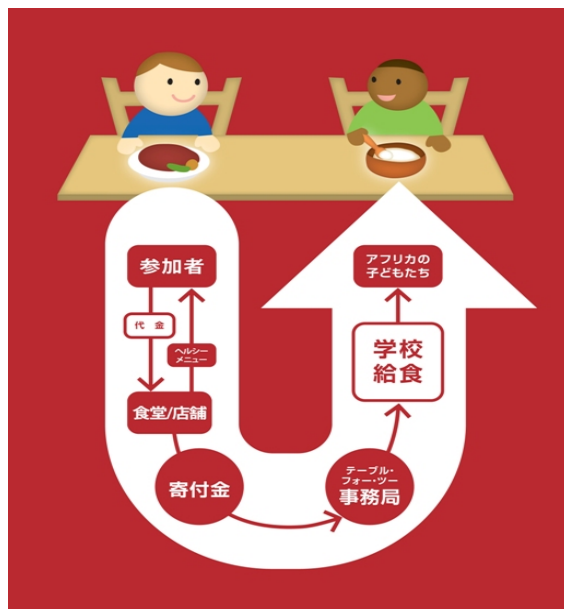
平成26年度役員	代表	入交 享子
	副代表	谷 秀樹
	副代表兼会計	菅本 大二

TFTって何?? TABLE FOR TWO

開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消

に同時に取り組む、日本発の社会貢献活動です。

対象となる定食や食品をご購入いただくと、1食につき20円の寄付金が、table for twoを通じて開発途上国の子どもの学校給食になります。20円というのは、開発途上国の給食1食分の金額です。つまり、先進国で1食とるごとに開発途上国に1食が贈られるという仕組みです。



2013年度の活動

4～5月 畝立て



苗植え

干ばつに会い
1000本以上の
苗が枯れる！

本当に
自然に畏敬の念を抱く日々…
10月
皆さんの努力の甲斐あって
実りの多い収穫祭だったが
やはり悪天候の連続！！



3月のスイーツコンテストでは

優勝 梅花女子大学 準優勝 茨木高校
フロランタン風 モンブラン
さつまいもタルト



夏は観察会と芋の葉とツルのお料理をしてみた。
もちろんおいものお菓子も！
親子でエコクッキングだ～！！ 8月



おいしい笑顔が一杯

11月



お店屋さんに
出荷！

